資料４－３

美祢市立美東病院の病床機能再編について

１　病床機能再編の趣旨について

（１）地域における担うべき役割

○　今後の医療需要見込み

宇部・小野田保健医療圏の中でも、美祢市は、高齢化の進展等により高齢者の医療需要が増加する一方、総人口は減少傾向であり、2026 年までは、市の医療需要全体としてはほぼ横ばいで推移すると推測している。

○　当院の役割

市内で一般病床・療養病床を有している病院は、当院と美祢市立病院のみである。特に高齢者にとってアクセスの良い病院として、急性期・回復期・慢性期医療の提供や在宅医療の支援等、市立２病院が連携し、多様な機能をもつことにより、美祢市の医療需要に柔軟に対応することが、当院の担うべき役割と考える。

（２）今後の目指すべき病床機能等

今後、当院の役割を果たすためには、病床機能の再編が必要であり、市外の高度急性期病院や市内開業医、併設する訪問看護ステーション、介護福祉施設等とも連携し、急性期医療から回復期医療・慢性期医療までの入院医療の提供や一般内科医師を中心とした訪問診療等にも対応し地域密着・ケアミックス型の機能を維持していく。

【具体的施策】

① 高度急性期病院等への紹介患者を受け入れるポストアキュート機能の強化
② 在宅診療患者・施設入所者急変時に受け入れるサブアキュート機能の強化
③ 地域で安心して医療を受けたいと考えておられる慢性期患者受入機能の充実
④ 市民の在宅療養の需要に応えた訪問診療・訪問看護等在宅医療機能の充実

（３）課題

○　通常の診療や救急患者の受入に加え、新興感染症患者の受入体制の確保
○　医師及び看護職員の確保
○　将来的に持続可能な安定した運営資金の確保
○　医療ＤＸの推進

（４）病床機能再編理由

今後さらに厳しい状況が見込まれることから、限られた医師・看護師等の医療資源を最大限効率的に活用し、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、病床機能の転換を行い、当院の機能を適正化していく。

また、このたびの病床機能の転換は、一般病床において、医療需要を考慮し、

在宅復帰支援等を行う機能を有する地域包括ケアシステムを支える役割を担う地域包括ケア病床をさらに増床し、急性期病床をさらに減床することについては、当院の手術機能を全て美祢市立病院へ集約したことなどによるもので、より質の高い医療提供体制（看護体制）を維持できる範囲内において行うものであり、また、令和６年３月に策定した「美祢市病院経営強化プラン」における経営指標の範囲内での転換であるため、医療の受入体制及びプラン遂行には影響が生じないものと考えている。

なお今後は、美祢市立病院及び後方支援施設等との連携をさらに強化し、対応することを考えている。

２　機能ごとの病床のあり方について

上記１のとおり、限られた医師・看護師等の医療資源を最大限効率的に活用し、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、下記のとおりプランを改定する。

○改定内容

急性期病床 28 床のうち 8 床を回復期病床に転換し、急性期病床を 28 床から 20 床に減床、回復期病床を 32 床から 40 床に増床

■現在の機能別病床数

区分	病床数	内訳
一般	60 床	急性期 40
		回復期 20
療養	40 床	慢性期 40
計	100 床	

2025 プラン（改定前）

病床数	内訳
60 床	急性期 28
	回復期 32
40 床	慢性期 40
100 床	

2025 プラン（今回改定後）

病床数	内訳
60 床	急性期 20
	回復期 40
40 床	慢性期 40
100 床	

３　今後のスケジュール

２０２６年 12 月	急性期病床から回復期病床への転換（８床）

対応方針（2025プラン）の変更(美祢市立美東病院)

<table>
<tr><td colspan="3">病床機能報告における
病床数（7月1日時点）</td><td colspan="5">対応方針（2025プラン）の内容</td><td rowspan="2">備考
（対応方針の実施予定時期等）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能
区分</td><td rowspan="2">R7
現在</td><td rowspan="2">R8
予定</td><td rowspan="2">病院の特徴・役割</td><td rowspan="2">今後の方針</td><td colspan="3">機能別病床数（2026）</td></tr>
<tr><td>機能
区分</td><td>現行</td><td>変更後</td></tr>
<tr><td>高　度
急性期</td><td></td><td></td><td rowspan="6">・総合的な内科診療や外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、婦人科の診療科があり、必要な検査やリハビリ、検診など、生活に密着した有用な治療を受けられ、住民が生涯この地域で暮らしていくために、地域の病院として重要な役割を果たす。
・全ての傷病に対応することはできないが、当院を足掛かりに専門的な医療機関を紹介し、手術等の後はまた地域に戻って治療を継続することができる「地域医療」のあるべき姿を具現化する病院として、地域の開業医や訪問看護、ケアマネージャーからの情報も大切にしつつ、安全・安心の一役を担う。</td><td rowspan="6">・美祢市病院事業局内の市立２病院の連携をさらに強化し、高齢化の進展等、地域の医療需要に柔軟かつ的確に対応できる体制を整備し、機能の適正化を推進する。
・今後さらに厳しい状況が見込まれることから、医療資源を最大限効率的に活用し、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、病床機能の転換を行う。
・令和６年３月に策定した「美祢市病院経営強化プラン」における経営指標の範囲内で医療の受入体制の確保及びプラン遂行を図り、後方支援施設等との連携もさらに強化し、対応することを考えている。</td><td>高　度
急性期</td><td></td><td></td><td rowspan="6">令和８年12月
実施予定</td></tr>
<tr><td>急性期</td><td>40</td><td>28</td><td>急性期</td><td>28</td><td><u>20</u></td></tr>
<tr><td>回復期</td><td>20</td><td>32</td><td>回復期</td><td>32</td><td><u>40</u></td></tr>
<tr><td>慢性期</td><td>40</td><td>40</td><td>慢性期</td><td>40</td><td>40</td></tr>
<tr><td>休　棟</td><td></td><td></td><td>休　棟</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>100</td><td>100</td><td>合　計</td><td>100</td><td>100</td></tr>
</table>